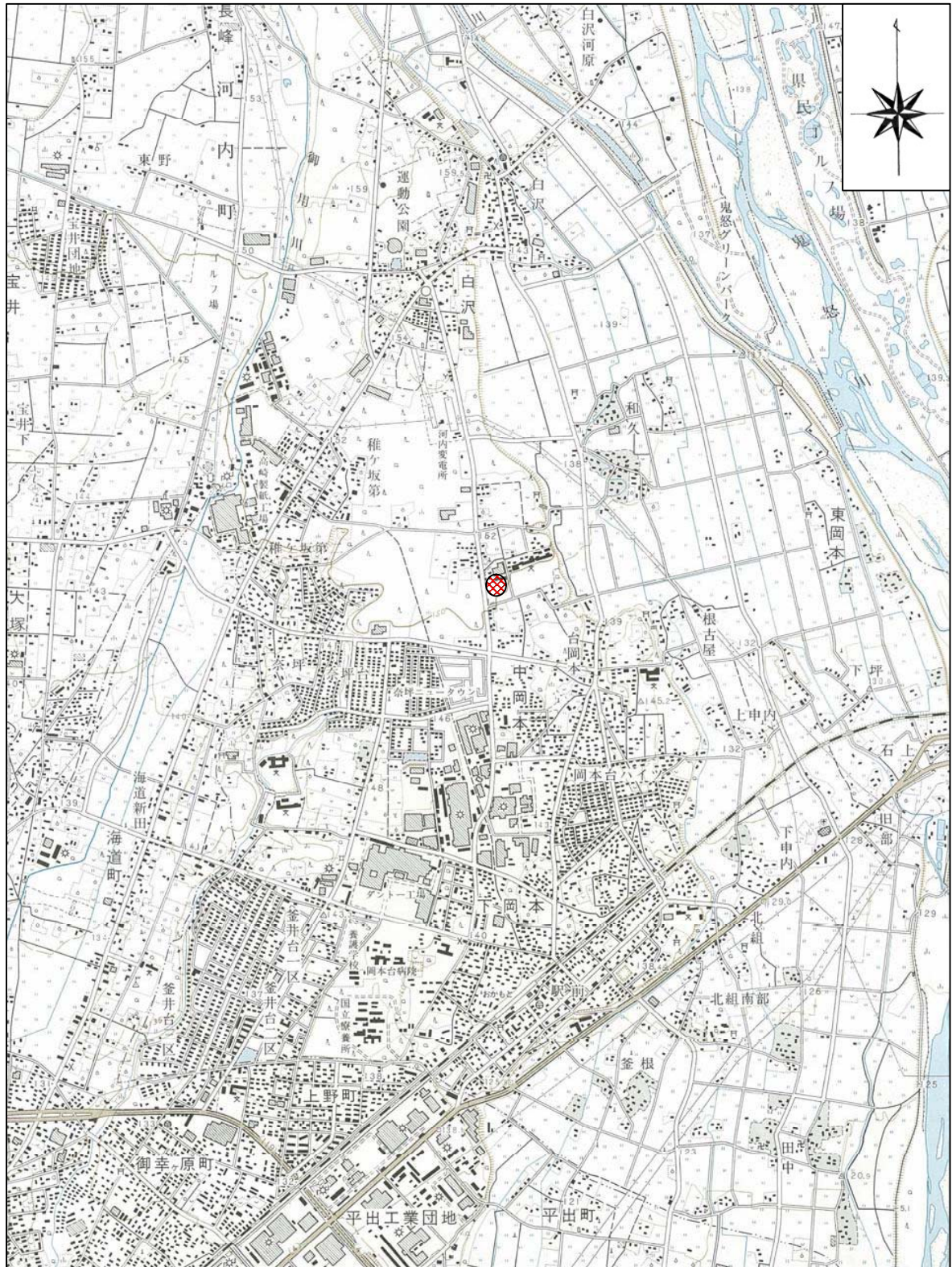


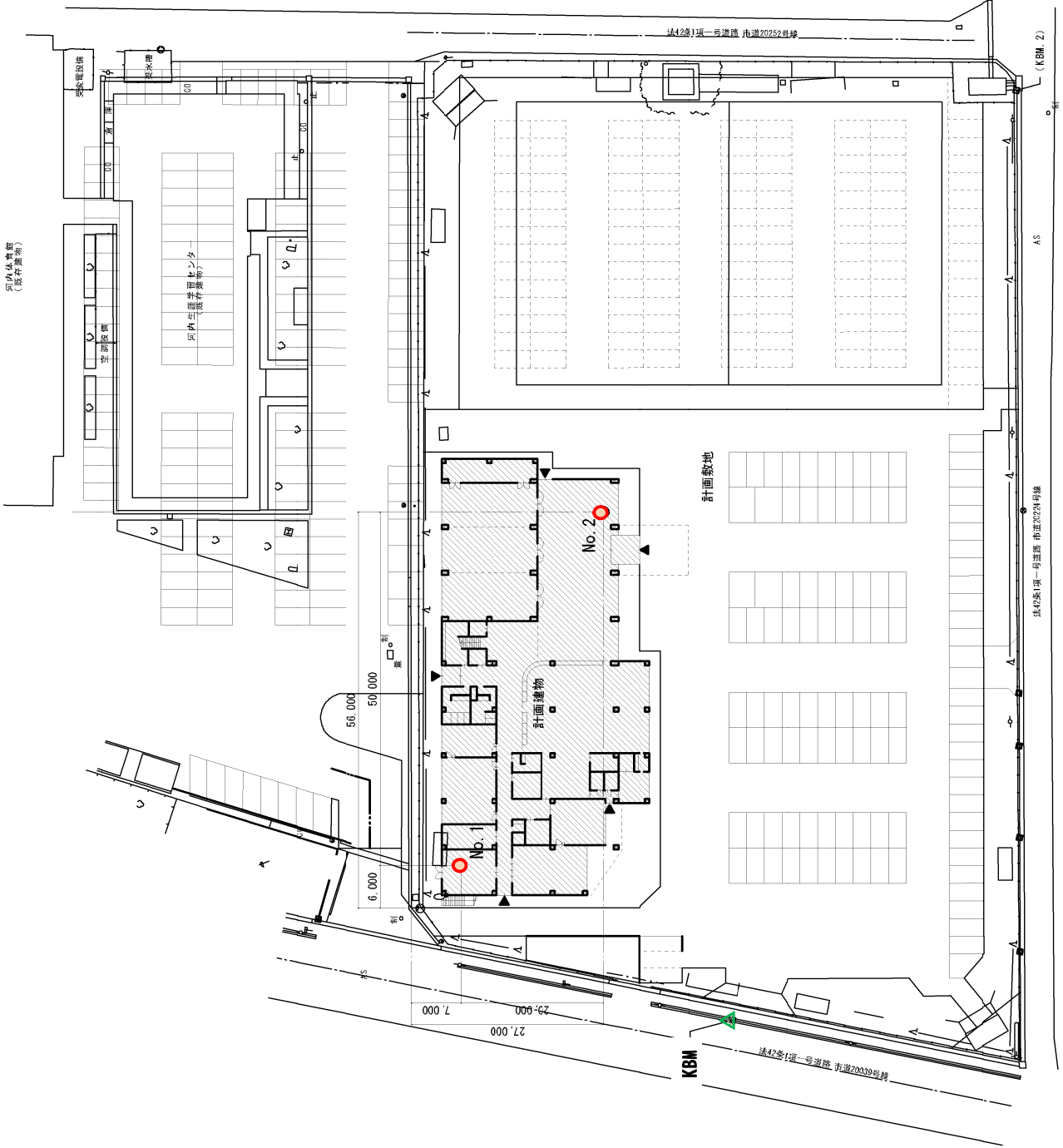
1.2 業務箇所位置図



案内図 (S=1:25,000)

調査地

国土地理院発行 2.5 万分の 1 地形図「宇都宮東部」より一部抜粋

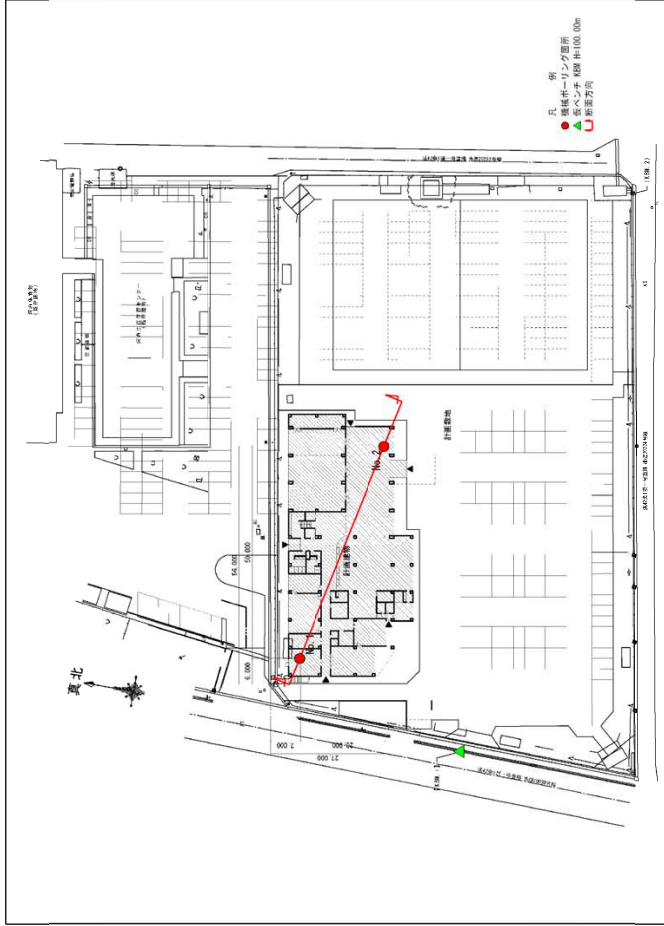


凡 例

- 機械ボアリング箇所
- ▲ 仮ベンチ KBM H=100.00m



調査位置平面図 S=1:1200

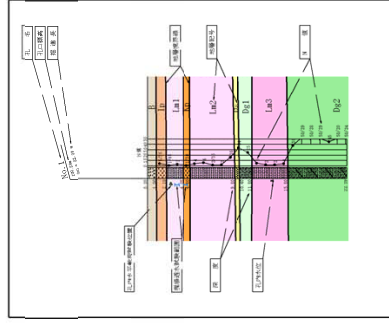


凡例

時代	地層名	記号	主な土質	厚さ(m)	層数
新第三紀	礫層	B	礫 有機質シルト	0.80~1.00	2~1
	全市礫石層	lv	七水採礫石 全市礫石	0.80~1.10	1~5
新生代	ローム層1	Lm1	ローム	1.95~2.10	1~3
	礫層礫石層	lv	礫層礫石	0.70~0.75	0~1
第四紀	ローム層2	Lm2	ローム	4.10~5.00	2~16
	洪積砂層	Ds	細砂 粘土混じり細砂	0.60~0.80	29~24
更新世	洪積砂層1	Dg1	砂 粘土混じり砂層	1.40~5.60	14~50
	ローム層3	Lm3	ローム	0~4.00	2~5
	洪積砂層2	Dg2	粘土混じり砂層	5.30~6.50 ^e	38~50

*1: 試料採取、調査状況からの調査内容
*2: ボーリングの最終掘削深度までの確認深度

断面図凡例



地層想定断面図 S=1:400

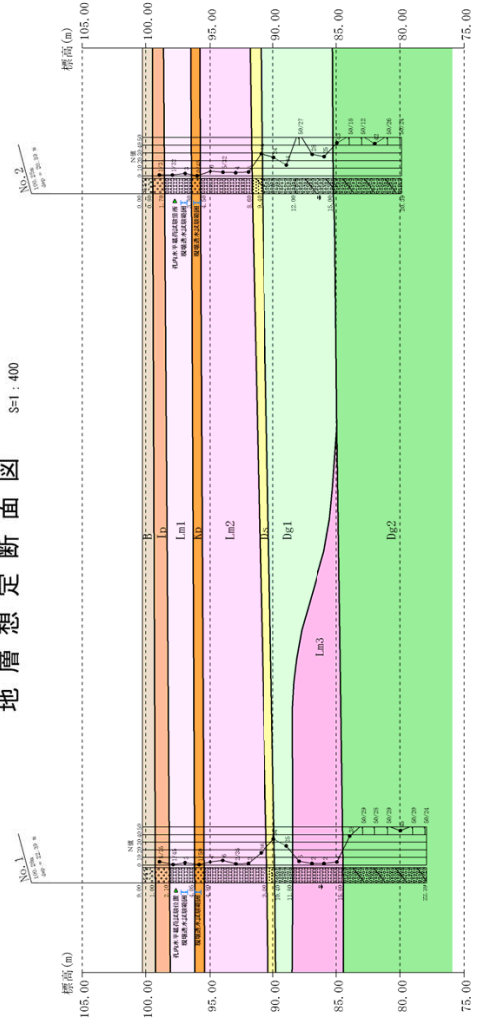


図 3.2 地層想定断面図 (縮尺=1/400)

ボーリング柱状図

調査名 河内地域自治センター改築工事実施設計業務委託

ボーリングNo. N 0 . 1

事業・工事名

シートNo. 3909801

ボーリング名	No. 1		調査位置	宇都宮市中岡本町3225番地			北緯	36° 36' 58.4"			
発注機関	宇都宮市			調査期間	平成 25年 11月 19日 ~ 25年 11月 22日		東経	139° 56' 33.8"			
調査業者名	株式会社 安藤設計 電話 ()		主任技師	現場代理人	コ 鑑 定 者		ボーリング責任者				
孔口標高	100.26m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具	半自動
総掘進長	22.39m	度	0°	向				エンジン	NS75	ポンプ	V-6

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深 (m)	試験名 および結果	深 (m)	試験番号	採取方法	室内試験 ()	掘進月日					
												深 (m)	10cmごとの 打撃回数	0	10	20								打撃回数 / 貫入量 (cm)				
1	99.26	1.00	1.00		黒ボク	黒褐		軟い		表層10cmは盛土(砂)有機質なシルトである 含水量、粘性ともに中位		1.15	2	1	2	5												
2	98.16	1.10	2.10		軽石	黄褐赤褐		中位~軟い		1.00~1.10m間は七木桜軽石 1.10~2.10m間は全粒軽石 含水量が非常に多く粘性小さい		1.50	1	1	1	1												
3					ローム	褐		非軟~軟い		上部は含水量が非常に多く軟らかい 2.50m以深は含水量、粘性ともに中位 3.50m付近より軽石、腐植物、微量の砂が混じる		2.15	1	1	1	1												
4	96.21	1.95	4.05		軽石	淡黄褐		非軟		炭沼軽石である φ1~3mmの粒径で多孔質構造 含水量は非常に多く粘土化している		2.60	1	1	1	1												
5	95.46	0.75	4.80									4.15	1	1	1	1												
6												4.65	1	1	2	4												
7					ローム	褐		軟い~中位		含水量多く粘性は中位 腐植物を少量混入する 深部ほど風化が進み、粘土化している		5.45	1	1	1	1												
8								軟い~硬い		7.00m付近より少量の火山砂を多く混入する		6.15	2	2	2	6												
9										8.80m付近から半固結の部分を含み一部は非常に硬い		7.15	1	1	1	2												
10	90.46	5.00	9.80		細砂	暗褐		密な		粒径不揃いで上部は粗砂が多い 10.00m付近より固結の程度が高い 7.00mより少量の火山砂を混入		8.15	1	1	1	2												
11	88.46	1.40	11.20		砂礫	暗褐		中くらい		φ2~60mmの円・亜円礫が主体 隙間は粗砂、若干の粘土により充填されている ややゆるい堆積状態		8.45	5	5	6	16												
12												9.15	10	14	10	34												
13												10.15	7	6	12	25												
14					ローム	褐		軟い		含水量多く粘性は中位 腐植物を少量混入する 深部ほど風化が進み、粘土化している		11.15	2	2	1	5												
15										15.00m付近より暗褐色の砂質粘土状を呈す		12.15	1	1	1	2												
16	84.46	4.00	15.20									13.15	1	1	1	2												
17												13.45	9	10	19	38												
18					粘土混じり砂礫	暗褐		非常に密な		φ2~60mmの円・亜円礫が主体 φ100~200mmの玉石(コア長L=40~80mmの2.5倍程度として推定)を点在 隙間は粒径不均一な砂と粘土にて充填され、所々粘土が非常に多い		14.15	16	16	18	50												
19										18.00m付近より風化礫、軽石を混入している		14.45	19	17	14	50												
20												15.15	17	15	18	50												
21												16.15	14	15	16	45												
22										20.00m付近は粘土分が非常に多い、礫は安山岩、頁岩が多い		16.45	26	24	50	75												
23	77.87	6.53	22.39									17.15	22	20	8	50												

ボーリング柱状図

調査名 河内地域自治センター改築工事実施設計業務委託

ボーリングNo. N 0 . 2

事業・工事名

シートNo. 3909802

ボーリング名	No. 2		調査位置	宇都宮市中岡本町3225番地			北緯	36° 36' 58.3"					
発注機関	宇都宮市			調査期間	平成 25年 11月 25日 ~ 25年 11月 27日			東経	139° 56' 36.6"				
調査業者名	株式会社 安藤設計 電話 ()		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者						
孔口標高	100.25m	角			地盤勾配			使用機種	KR-100SH2		ハンマー落下用具	半自動	
総掘進長	20.39m	度			向			エンジン	NS75		ポンプ	V-6	

